

都市自治体における学校施設のあり方に関する研究会 論点メモ（案）

論点 1 学校施設の現状と地域社会における役割

（１）学校施設が果たす多面的な役割

- 教育の基盤としての役割
 - ・ 学習環境の質向上
 - ・ ICT 環境整備、特別支援教育への対応
- 地域コミュニティの拠点としての役割
 - ・ 地域行事、PTA 活動、地域団体の活動場所
 - ・ 多世代交流の場
- 防災拠点としての役割
 - ・ 避難所機能、備蓄倉庫、災害時の情報拠点
- 地域課題解決への波及効果
 - ・ 子育て支援（放課後児童クラブ、乳幼児支援）
 - ・ 高齢者の居場所づくり
 - ・ 地域の安全・見守り体制の強化

（２）学校施設の老朽化と更新需要

- 施設の老朽化（築 40 年以上の校舎の増加）
- 耐震化・長寿命化の必要性
- 更新・改修に伴う財政負担と児童生徒数減少の影響

（３）地域特性に応じた学校施設のあり方

- 都市部：用地制約、複合化ニーズ、児童・生徒数の偏在への対応
- 地方部：小規模校の増加、統廃合の検討、義務教育学校化、地域の拠点としてのあり方

論点 2 学校施設の利活用の方向性

（１）地域開放・共用化の推進

- 学校施設の地域開放（体育館、校庭、特別教室など）
- 放課後・休日・長期休暇の利活用の拡大
- 地域団体・NPO・企業との連携による活用モデル

（２）複合化（・多機能化）の可能性

- 図書館、子育て支援施設、地域交流センターとの複合化
- 高齢者福祉施設などとの併設

- 行政・地域拠点としての機能集約
 - 学校設置基準の解釈
- (3) ICT・先進技術を活用した新たな学校施設像
- デジタル教材・オンライン学習環境の整備
 - スマートスクール化（セキュリティ、空調、エネルギー管理）
 - 遠隔授業・地域連携授業の基盤整備
 - 教員の事務負担軽減

論点3 学校施設の管理・運営体制のあり方

- (1) 自治体・学校・地域の役割分担
- 教育委員会と学校現場の役割整理
 - 地域団体・PTA との協働
 - 施設管理者（指定管理者含む）の活用可能性
- (2) 安全・防災・セキュリティ対策
- 児童生徒の安全確保（入退校管理、防犯カメラ）
 - 災害時の避難所運営体制
 - 施設の耐震化・老朽化対策
- (3) 財政負担と効率的なマネジメント
- スtockマネジメントの導入
 - 維持管理費の最適化
 - 施設統廃合の判断基準と地域合意形成

論点4 持続可能な学校施設のあり方に向けて

- (1) 将来を見据えた学校施設の再編・整備
- 人口動態を踏まえた中長期的な施設配置計画
 - 小中一貫校・義務教育学校の検討
 - 統廃合に伴う地域拠点の再設計
- (2) 公民連携の活用
- 施設整備・維持管理の効率化
 - 民間ノウハウの活用（省エネ、維持管理、複合施設運営）
 - 収益事業の展開・連携（貸室、イベント利用）
- (3) 地域とともに育てる学校施設
- 学校運営協議会等、地域協働の仕組みづくりと地域人材の活用
 - 学校を核とした地域コミュニティの再構築